

## 新潟市農業構想の進行管理について

将来像	基本方針	指標	平成25年度	平成29年度	平成34年度 将来目標
食と花の都 笑顔あふれ明日を拓く大農業都市	基本方針1 競争力のある食と花の確立	① 水稲作付面積	24,500ha	<b>24,884ha</b>	24,500ha
		② うるち米一等米比率	78.10%	<b>85.8%</b>	90%
		③ 学校給食における地場農産物(野菜・果物・きのこ類)の利用割合	25.20%	<b>26.69%</b>	30%
	基本方針2 意欲ある多様な担い手の確保・育成	④ 認定農業者への農地集積率	54.29%	<b>65.8%</b>	85%
		⑤ 新規就農者数	66人	<b>69人</b>	70人
	基本方針3 力強い農業生産基盤等の整備・保全	⑥ 市管理農業用排水機場の長寿命化対策工事の実施数	0機場	<b>4機場</b>	10機場
		⑦ ほ場整備率	48.90%	<b>50.6%</b>	60%
	基本方針4 魅力ある田園環境の創出	⑧ 多面的機能支払の取り組み率	62.50%	<b>87.4%</b>	95%
		⑨ 主食用水稲作付面積に占める化学合成農薬・化学肥料を5割以上削減した栽培面積の割合	34.40%	<b>35.44%</b>	50%
		⑩ 田んぼダムの面積	5,000ha	<b>5,555ha</b>	6,000ha
	基本方針5 食と花の理解を深める農のある暮らしづくり	⑪ 農業サポーター活動人数(延活動日数)	延4,621日	<b>延5,622日</b>	延6,500日
		⑫ 教育ファーム(農業体験学習)取り組み小学校割合	86.70%	<b>100%</b>	各年100%